

沢川新報

Vol.14

10月の初め、4日に“5人による音楽演奏会”と題された各楽器のプロの方達が演奏会を談話室にて行なってくれました。

ギターやバイオリンと定番の楽器と共に、トロンボーンという普段はあまり聴く事の無い楽器を演奏する方も来て演奏を行ないました。演奏終わりには高価で歴史の有るギターを触らせてもらったり、ギターに纏わる色々な事を教えて貰う事が出来ました。



10月10日、大船渡第一中学校ボランティア



第一中学校による2回目のボランティアが交流会と共に行なわれました。合唱を初めに、駐車場を整備、ゴミステーションの清掃と外回りの整備班と 談話室にての交流班とに分かれ、総勢30名の生徒達が来てくれました。交流会では、折り紙を使って八角箱を一緒に折ったりと短いながら楽しい一時流れました。生徒達から住民への仮設に於いて、何が大変で何か協力できる事が無いかな等の色々な質問が為される事も有りました。本当にありがたい、有意義なボランティア&交流会だったかと思いました。



毎朝6時頃仮設を出て、病院の自販機でコーヒーを買い、ゆっくり飲みながら、今日の事をあれこれ考える。

それから知人の家の犬を散歩に連れ出す。

時々家の周りの草取りの手伝いもする。この時間が一日で一番ゆっくり出来る。

今月は書きたい事もあったが、体調が良くない。来月期待して下さい。

夜明けが遅く、日暮れが早い。寒くなりましたが「カゼ」をひかない様に……。

会長 金野克郎

おはなしころりん

“おはなしころりん”とは：

大船渡市立図書館、(特活)チャイルド・ファンド・

ジャパンが共催し、大船渡市社会福祉協議会、関東海新報社、岩手日報社が後援する岩手県《新しい公共の場づくりのためのモデル事業》の読書ボランティア集団の事、及びその活動の総称の事である。

大船渡を中心に広域で活動している読書ボランティアのおはなしころりんさんが「大人のための読み聞かせ講座」と題し、主催する読み聞かせ会が全三回に分けて、今月10月の10日、17日、20日と来て行なわれました。

第一回目は本の読み聞かせや紙芝居が行なわれました。紙芝居の種類やその紙芝居に纏わる話の説明等を楽しみながら講話して貰いました。第二回目は、住民の方達と一緒にあの有名な「大きなカブ」を読んだり、同じ題名の各国の本を紹介して貰ったりし、国によつての違いなどを楽しみながら学べました。

一
回
目



二
回
目

最後の三回目は、盛保育園の年長さん達を談話室に呼んでの実践でした。

三
回
目
!!!

吉田さんが子供達に本を読んで聞かせるという講話の集大成を披露しました。子供達は凄く喜んで文字通り食いつく様に見て、聴いていました。本当に遣り甲斐があったかと思えます。また、いつか開いて頂きたいですね。今度はもっと大勢の方に参加して貰えれば面白いと思いました。



今月の予定は紙面の都合により、掲載出来ませんでした。本当に、申し訳ありません。詳細は支援員 高橋まで。